

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(-)米川飯田線		
事業毎の通番		3	市町村名	飯田市	箇所名(ふりがな)	安戸~堀廻(やすんど~ほりまわし)	
事業概要	事業目的	(-)米川飯田線は、飯田市街地と千代を結ぶ路線であり、飯田市東部と市街地を結ぶ重要な生活道路である。また、同地区内では三遠南信自動車道の千代IC(仮称)が建設中であり、本路線の整備はネットワーク構築のため必要不可欠である。当該区間の見通し改善や、冬期間の凍結抑制により、走行性及び便利性の向上を図ることで住民生活の支援をおこなうべく事業を実施したい。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法		
	関連する事業、計画等	三遠南信自動車道					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量: 2200台/日(H42推計)					
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年間		事業費(千円)	財源内訳(千円)
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果			国庫	その他 県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=810m W=6.0(8.0)m		120,000		108,000	12,000
	年度事業内容(主な工種)	路線測量一式、道路詳細設計一式 用地買収一式、本工事 L=110m		25,000		22,500	2,500
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間の短縮				
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○代替道路の有無 : 代替道路あるが安全性が低い ○交通結節点アクセス : 三遠南信自動車道千代インターチェンジへのアクセス道路 ○生活支援・観光振興 : 千代小学校との連携、よこね田んぼ等の観光振興が発揮できる道路				評価	A
	重要性	○緊急輸送路の路線指定 : 飯田市指定緊急輸送路 ○地域指定 : 東海地震に係わる地震防災対策強化地域指定				評価	C
	効率性	○費用対効果(B/C) : 4.93 ○事業期間 : 5年(H27~H31) ○工法等の比較検討 : コスト縮減に関する工法比較検討有り ○他事業との連携 : 三遠南信自動車道 関連				評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 2件(H25:1件 H26:1件) ○現況の幅員、半径、勾配 : 車道幅員3.5m(最小部)				評価	C
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知 ○地域の取り組み : 地元龍江地区の期成同盟会より当箇所の拡幅の要望書が提出される ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 龍江道路愛護会を中心に、今後住民の関与が見込まれる				評価	A
	部意見	事業の必要性、計画熟度が高いため、平成27年度から事業化したい。	行政改革課意見	必要性が認められる。		評価結果	総合評価

### 位置図

事業箇所(堀廻)  
事業箇所(安戸)

### 平面図(安戸工区)

(-)米川飯田線 飯田市 尾林上(安戸工区) L=110m W=6.0(8.0)m C=75百万円  
H27 安戸 用地測量 用地補償 道路拡幅工 L=50m W=6.0(8.0)m C=5百万円

### 平面図(堀廻工区)

(-)米川飯田線 飯田市 尾林上(堀廻工区) L=700m W=6.0(8.0)m C=45百万円  
H27 測量・設計 L=300m C=20百万円

### 交通状況

### 道路横断面の構成

全幅 8.0m  
路肩 1.0m 車道 3.0m 車道 3.0m 路肩 1.0m  
現況幅員 3.5m

### 事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(-)米川飯田線は、飯田市街地と千代地区を結ぶ路線であり、飯田市東部と市街地を結ぶ重要な生活道路である。当該区間は幅員が狭小であり、今後千代ICへのアクセス機能の確保が課題となっていることから、地域から強く要望されている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成15年度、飯田市から要望が挙がり、以降、毎年要望活動がある。
③事業説明等の経緯	平成23年12月、地元役員及び地権者に説明を行った。事業について了承を得るとともに、早期着手を求められた。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	本路線は三遠南信自動車道千代インターチェンジのアクセス道路として利用させることが見込まれている。なお、三遠南信自動車道(飯高道路)は平成29年度供用開始予定。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	現道拡幅のため、環境への影響は小さい。また、路肩部の土留は構造物ではなく土羽構造とし、緑化を図る。
⑥地域活性化への影響と配慮	飯田市街地への利便性向上による暮らしやすい生活環境の形成、及び観光地へのアクセス性向上による地域産業への支援効果が期待される。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯: N 35° 26' 10" 東経: E 137° 50' 11"